MRI 検査について

■はじめに

●MRI とは Magnetic Resonance Imaging:（磁気共鳴画像）の略称です。非常に強い磁石と電波を利用して、人体の内部を様々な角度から撮像する検査です。

●兵庫医科大学病院では現在 4 台の MRI 装置（3.0.テスラ：3 台、1.5 テスラ：1 台）が稼働しており、いろいろな部位・疾患に対して必要な情報を提供しています。

●MRI 検査は特殊な環境下（強い磁場）で行う検査ですので、注意事項を十分にご確認してください

■MRI の特徴

●X線を使わないので被ばくはありません。

●痛みはありません。

●強い磁石と微弱な電波を用いて検査をしています。

●比較的長い検査時間を要します。

●大きな音が発生します。

●場合によっては検査の順番をお待ち頂くことがあります。

～お子様の MRI 検査について～

MRI 検査は動きにとても弱い検査です。また、検査中には大きな音がします。

検査時間内にじっとできないお子様にはお薬（経口又は坐薬）を使用し、寝た状態で検査を行います。

＊この場合お子様がいつ眠るか分かりませんので、早めに来院して頂くことになります。

●眠らない場合、検査中止または日付変更となる事があります。ご了承ください。

●お子様が起きないうちに検査するために、場合によっては検査の順番をお待ち頂くことがあります。

●お子様が眠りやすいように、検査前日および検査当日は普段より睡眠時間を短くしていただくと検査がスムーズに行えます。

検査の流れについて

●MRI 検査をより安全に受けて頂くために、検査前には毎回問診表を用いて確認をします。
●当院では予約制で検査を行っており、検査前にはお着替えなどの準備があるため予約時間の 20 分前にお越し頂いております。 遅刻した場合、検査順番が前後し、お待ちいただいてしまう事があります。
●緊急検査、お子様の検査などにより予約時間通りに検査を行えない場合があります。ご了承ください。
●検査中は検査台が円筒状の装置内に入り、コンコン、トントンと大きな音が続きます。大きな音を防音するために音楽を流したヘッドホンや耳栓を使用します。（完全には音を消すことはできません。）
●検査中、体を動かさないようにご協力ください。
●検査部位によっては合図により息を止めて頂くこともあります。

検査中気分が悪くなったり、用事がある場合には装置にマイクがついていますので、 お声掛けして頂くか、あらかじめブザーを持って頂いてお知らせして頂く事ができます。
検査時間は検査部位や内容により異なりますが、約 30 分程度です。

注意事項について

■検査室に持ち込めないもの

●MRI 検査室は強い磁石の力がはたらいています。磁石にひきつけられたり、画像に影響を与えるおそれのあるもの、 破損のおそれのあるものは検査前にチェックし、あらかじめ取り外して頂きます。

《検査室に持ち込めないリスト例》
金属類
時計、メガネ、ライター、鍵、アクセサリー（ピアス、ネックレス、指輪）、ヘアピンなど
磁気カード
キャッシュカード、テレホンカード、定期券、駐車券、診察券など
その他
携帯電話、補聴器、入れ歯、カイロ、湿布など

■MRI 検査を受けられない、または受けられない場合がある方

●心臓ペースメーカを使用している方

●体内に金属性のもの（人工内耳、可動型義眼など）を埋め込まれている方

●強度の閉所恐怖症の方

MRI の造影剤について

■MRI の造影剤

MRI 検査ではより詳しい検査を行うために、検査の途中で造影剤を使用することがあります。造影剤は通常、腕の静脈から注射されます。また、検査内容によっては検査前に飲んでいただく経口造影剤もあります。

これらの造影剤は比較的副作用が少ない医薬品ですが、以下の方は造影剤を使用できないことがありますので、事前に担当者にお申し出下さい。

●喘息がある（かかったことがある）方

●アレルギー体質の方

●今までに造影剤を使用して気分が悪くなったことや、じんましんが出た事がある方

●授乳中の方

●腎機能の悪い方、血液透析を行っている方

■注意

造影剤を使用する検査では、「同意書」が必要になります。検査当日には外来受診時に渡された同意書をお持ちください。

忘れますと新たに同意書を作成する必要があります

MRI 装置の紹介

MRI 1. Canon 社製 / Vantage Galan 3T

MRI 2. SIEMEMS 社製
/ MAGNETOM Sola 1.5T

MRI 3. SIEMEMS 社製
/ MAGNETOM Vida(XT-gradient) 3T

MRI4. PHILIPS 社製 / MR7700 3T